

りゅうぎん まかせて新聞

2012 12月
(平成24年) 第19号 (最終号)

発行／琉球銀行
総合企画部地域貢献室
〒900-0015 那覇市久茂地1-11-1
(大代表)
TEL098 (866) 1212
ホームページ
<http://www.ryugin.co.jp/>
メールアドレス
ryugin@ryugin.co.jp

りゅうぎんの目指す将来像 「問題解決型銀行」

「問題解決型銀行」とは、文字通り地域、企業、個人のお客さまの問題や課題を発見し、解決していく、りゅうぎんの銀行像です。りゅうぎんは、問題解決型金融機能の強化を図り、多様なサービスを提供することにより地域、企業、お客さまとともに、持続的な成長を図ることを目指しております。

琉球銀行は、2012年9月3日に記者会見を行い、沖縄県警察・那覇市消防本部と「犯罪のない安全で安心して暮らせる沖縄県」を実現することを目的

とする防犯活動等に関する覚書および防火防災支援活動等に関する覚書を締結し「琉球銀行地域安全サポートプラン」を開設しました。



沖縄県警察・琉球銀行・那覇市消防本部
「琉球銀行 地域安全サポートプラン」覚書締結式

「地域安全サポートプラン」覚書締結式

琉球銀行は、このような活動を通して「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を目指してまいります。

これは、当行の地域貢献活動の一環で、琉球銀行の沖縄県内にある全営業店（支店57カ店、出張所9カ所）を「防災」「防犯」の地域拠点として活用し、警察や防災の活動を支援する取り組みを実施するものです。



地域サポート プランチ開設！

県内全営業店を防犯・防災 拠点として活用

りゅうぎんまかせて新聞 第19号(2012年12月号)発行

2005年3月、金融庁は「地域密着型金融の機能強化の推進に関するアクションプログラム」を公表し、全国の地域金融機関は、2005、6年度の二年間に、地域密着型金融の一層の推進に取り組むことになりました。

さらに、2007年から、「地域密着型金融」が恒久的な取り組みになり、各金融機関が独自性を出した活動を推進することになりました。

同時に、地域金融機関には、中小企業再生等に向けての取り組み、地域経済における経済的役割

琉球銀行の地域貢献についての考え方(基本スタンス)

琉球銀行は、地方銀行の基本的な使命は「地域の金融インフラを支える存在として、円滑な資金供給と金融サービスを提供することにある」と認識し、本業である銀行業務を通じて地域貢献こそが、地方銀行本来のあり方と考えています。こうした基本理念に基づき、琉球銀行は県民からお預かりした預金の大部分を県内の中小企業・個人の皆さまに供給し、県経済・社会の発展に貢献しています。

同時に、地方銀行には、地域社会に根ざした良き企業市民としての社会的責任を果たすことが求められており、琉球銀行は、教育・芸術・文化・スポーツ振興支援や福祉・環境保護活動などのほか、さまざまなボランティア活動にも積極的に取り組んでいます。

や存在意義、企業市民としての活動などを分かりやすい形で、地域のお客さまに情報提供することが求められています。

琉球銀行では、こうした情報を提供する新しい情報開示手段として「りゅうぎんまかせて新聞」を2003年12月より発行しており、今回の発行で19回目となりました。

2012年12月号も、写真やイラストを増やし、分かりやすい紙面構成に心がけました。さらに、お客さまに役立つ情報を中心に、琉球銀行の活動をいろいろな角度から紹介しています。ぜひ、「一読ください」。

【解説】地域密着型金融

「地域密着型金融」とは、「金融機関が顧客との間で親密な関係を長く維持することに、顧客に関する情報を蓄積し、この情報をもとに貸出等の金融サービスの提供を行うことで展開するビジネスモデル」と定義されます。

その本質は、金融機関が長期的な取引関係に基づき、質の高い対面交渉などを通じて、早い時点で取引先の経営改善に取り組むとともに、中小企業金融における貸出機能の強化により、自身の収益向上を図ることにあります。

また、金融機関と中小企業のリスクの共同管理やコストの共同負担という基本的方向性を踏まえながら、相互の信頼関係のもと、情報開示を一層推進し、借り手と貸し手の双方の健全性の確保を目指すことにあります。